

ファースト・パトロネージュ・プログラム

第 **8** 回
2025・冬



工芸の次世代スター候補を応援しよう！
工芸の新時代を拓く
若き才能「お茶(和・洋・中)」をめぐる創作
買ってあなたもファーストパトロンに！
2025年12月4日(木)・5日(金)・6日(土) 3日間

出展作家21名

時 間 一般入場
12月4日(木) 14:00-19:00
5日(金) 10:00-18:00
6日(土) 10:00-17:00 入場 〆切
プレビュー(ご招待者様のみ)
12月4日(木) 13:00-14:00

入場料 無料 展示即売

会 場 KITTE 地下1階 東京シティアイ パフォーマンスゾーン
〒100-7090 東京都千代田区丸の内2-7-2 KITTE 地下1階
東京駅地下道で直結 JR東京駅丸の内南口より徒歩約1分

会場アクセス
公共交通機関からのアクセス
<https://marunouchi.jp-kitte.jp/guide/access.jsp>

東京シティアイまでのアクセス
<https://www.tokyo-city-i.jp/about/access>

【問合せ先】ファースト・パトロネージュ・プログラム事務局
一般財団法人川村文化芸術振興財団 <https://www.kacf.jp>
一般社団法人ザ・クリエイション・オブ・ジャパン <https://thcreationofjapan.or.jp>
東京都中央区銀座 4-3-6 G4 BRICKS BLD.7階
TEL:03-6228-6454 FAX:03-6228-6750
E-mail: fpp.info@thcreationofjapan.or.jp

主催 一般財団法人川村文化芸術振興財団
共催 香川県 塩尻市
協力 一般社団法人ザ・クリエイション・オブ・ジャパン (Co.)

FIRST PATRONAGE PROGRAM
2 0 2 5

五十嵐 誠 [木工芸作家、工房今昔堂主宰、公益社団法人日本工芸会 正会員] 推薦

穴戸 宏誠 Shishido Kousei **木工家**
曲木や組木をデザイン、構造に活かした木作品

街の中にある風景や日常の会話、自然物や人工物の関わりに刺激を受け制作をしています。作品の中に素朴さと存在感を感じ取れることを目指しており、実際に手に取って作品を見ていただける機会を嬉しく思います。

2002 北海道生まれ
2023 八王子現代家具工芸学校 卒業
工房今昔堂
現在 東京都在住、制作

野木村 泰正 [大分県立竹工芸訓練センター 竹工芸科職業訓練指導員] 推薦

吉田 草史 Yoshida Kayafumi **竹工家**
編組を用いた竹かご作り

実用性と鑑賞性を兼ね備えたモノづくりを心がけています。新たな形や手法にも挑戦し、これまでにない製品、作品作りを目指しています。

1991 長野県生まれ
2022 大分県立竹工芸訓練センター 修了
高見八州洋氏に師事
2025 独立、自営
現在 大分県在住、制作

藍田 愛郎 [江戸小紋師、公益社団法人日本工芸会 正会員、藍田染工有限会社代表取締役社長] 推薦

麻薙 詩乃 Asanagi Shino **江戸小紋師**
伊勢型紙を用いた手染めの江戸小紋・型染

江戸小紋と伊勢型紙の技法を生かし、現代感覚の染色作品を制作。伝統と革新を融合させ、日本の染色文化を国内外に発信したいです。

1987 千葉県生まれ
2010 多摩美術大学グラフィックデザイン学科 卒業
2011 藍田正雄氏に師事
2023 日本工芸会準会員
現在 群馬県在住、制作

工藤 聖美 [染織作家、女子美術大学芸術学部デザイン・工芸学科工芸専攻教授、国画会会員] 推薦

河野 香奈恵 Kono Kanae **染織作家**
絹をはじめとする天然繊維を主な素材とし、色彩を大切に染め上げた手織りの布作品

デザインとアート、クラフトの間を漂うような物作りを心掛けています。制作の中で大切にしているのは《色》。織りによる、意図からこぼれる無作為を見つめ、日々小さな偶然との出会いを待ちながら制作しています。

1985 東京都生まれ
2009 女子美術大学芸術学部工芸学科織コース 卒業
企業で刺繍レースのデザインに携わったのち、染織作家として活動
現在 東京都在住、制作

中田 ナオト [アーティスト、名古屋芸術大学芸術学部美術領域工芸コース 准教授] 推薦

植村 宏木 Uemura Hiroki **アーティスト**
ホットワーク／ミクストメディア

確かさと不確かさを併せもつ素材であるガラスを主軸として表現を行なっています。私たちの身の回りにある、目には見えないけれど確かに存在している事柄を知覚する場をつくろうと試みています。

1990 北海道生まれ
2010 秋田公立美術工芸短期大学工芸美術学科 卒業
2016 名古屋芸術大学美術学科 卒業
2019 名古屋芸術大学大学院美術研究科 修了
現在 愛知県在住、制作

鹿田 洋介 [ガラス作家、金沢卯辰山工芸工房 専門員] 推薦

森安 音仁 Moriyasu Otohito **ガラス作家**
ホットワーク、ガラスと金属箔の組み合わせ

ガラスと金属の相互作用から生まれる偶発的な光、色、テクスチャーを探索しています。素材の特性と視覚的な効果を自身のイメージに結びつけ、記憶の複雑さや曖昧さ、その蓄積を作品として可視化させています。

1998 大阪府生まれ
2021 大阪芸術大学工芸学科ガラス工芸コース 卒業
2023 富山市立富山ガラス造形研究所研究科 修了
金沢卯辰山工芸工房 入所
現在 石川県在住、制作

作家推薦協力

藍田愛郎(江戸小紋師、日本工芸会 正会員、藍田染工社長)
足立真実(染織作家、金沢美術工芸大学教授)
五十嵐誠(木工芸作家、工房今昔堂主宰、日本工芸会正会員)
石坂健一(長野県塩尻市副市長)
大井真希(陶芸家、金沢卯辰山工芸工房専門員)
大崎綾子(日本刺繍作家、女子美術大学教授、染織文化資源研究所責任者)
小笠原森(美術作家、陶芸家)
川浦由華(陶芸家、石川県立九谷焼技術研修所課長)
川嶋啓子(Office G2主宰 アートコーディネーター)
北野勝之(陶芸家、岐阜県立多治見工業高等学校専攻科陶磁科学芸術科主任)
工藤聖美(染織作家、女子美術大学教授、国画会会員)
栗本夏樹(漆造形作家、京都市立芸術大学美術学部漆工専攻教授、京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA館長)
高禎蓮(彦十時絵道代表)
呉藤安宏(山中漆器産業技術センター専門員)
駒井正人(陶芸家、多治見市陶磁器意匠研究所)
小森邦衛(漆芸家、石川県立輪島漆芸技術研修所所長、日本工芸会正会員、重要無形文化財「髹漆」保持者、邦衛工房主宰)
佐藤典克(陶芸作家、日本工芸会正会員、多摩美術大学工芸学科 非常勤講師)
佐藤碧(染色家、金沢卯辰山工芸工房専門員)
椎名勇(陶芸作家、東京藝術大学准教授)
塩谷良太(造形作家、多摩美術大学准教授)
鹿田洋介(ガラス作家、金沢卯辰山工芸工房専門員)
住谷晃一郎(香川県政策部文化芸術局美術コーディネーター)
中川周士(木桶職人、中川木工芸代表取締役、成安造形大学教授)
中田ナオト(アーティスト、名古屋芸術大学准教授)
奈良平直子(ファイバーアーティスト、テキスタイルデザイナー、嵯峨美術大学名誉教授)
西川聡(陶芸家、武蔵野美術大学教授)
野木村泰正(大分県立竹工芸訓練センター指導員)
橋本圭也(織作家、東京藝術大学美術学部教授)
比嘉明子(京都市産業技術研究所、知恵産業融合センター知恵産業推進グループ長)
三上亮(陶芸家、東京藝術大学教授)
養谷百合子(飛騨高山工芸店 風光ル)
山見浩司(万華鏡作家、Kaleidoscope art school主宰)

「ハジメテを応援」みんなで！
ファースト・パトロネージュ・プログラムとは、つくり手のスタートを応援することです。
つくり手を推薦する人、この機会を提供する人、
そしてつくられたものを買う人、みんなでつくるプログラムです。

FPPとは

1 推薦 全国の美術工芸教育機関や、工芸専門家、著名作家が社会に送りだしたいつくり手を推薦

2 制作 各方面から推薦されたつくり手のみなさんに、使うもの、日々楽しんでほしいものをつくってもらいました

3 購入 買って、使って応援する。お金はものづくりするためのガソリンです

4 収集 購入者には、支援の証としてファーストパトロンカードを進呈！将来にわたってつくり手を見守り、その活躍と一緒に喜ぶことができます

「ファースト・パトロン・カード」のたのしみ
カードにはつくり手からの御礼のコメントが記載されていて、今後のつくり手の活躍によっては、最初の一歩を応援したと誇れる記録になります。社会に「ハジメテ」を応援する心を一緒に広げていきましょう！

ファースト・パトロネージュ・プログラム (FPP) 第8回 2025冬

本プログラムでは、工芸の教育ならびに後進の指導にあたっている方々、工芸産地を擁する自治体から推薦いただき、審査会で選出された、21名の若手工芸作家(陶芸、染織、漆芸、ガラス、木竹工)が出演いたします。

審査員——黒田耕治氏(しぶや黒田陶苑)、小山登美夫氏(TOMIO KOYAMA GALLERY)、遠山正道氏(株式会社スマイルズ)、福田朋秋氏(高島屋京都店美術部)、山田遊氏(method inc.) ※五十音順・敬称略

<https://pf.kacf.jp>
ファースト・パトロネージュ・プログラム公式サイト

川村文化芸術振興財団の各SNSアカウントで、ファースト・パトロネージュ・プログラムの最新情報や出演アーティストの紹介をご覧ください。

<https://www.facebook.com/kacf.jp/> <https://www.instagram.com/fpp.kacf/> <https://twitter.com/kacf2017>

※五十音順・敬称略

蓑谷 百合子 [飛騨高山工芸店 風光ル] 推薦



市川 恵大 Ichikawa Keita 陶芸作家

白い土を野焼きして自然の気配を写しとり、水漏れ処理を施した現代の土器

自然と歴史から畏敬の念を抱いて学び、日本人が培ってきた感性と美意識を表現したいと考えています。そして素材を最大限に活かし、現代の生活に適う器を作れるよう日々精進しています。

1985 愛知県豊橋市生まれ
2017 岐阜県立多治見工業高等学校専攻科 修了
伊賀の窯元で学ぶ
2019 愛知県豊橋市にて独立
2021 岐阜県高山市に移住、工房を構える
現在 岐阜県在住、制作



小笠原 森 [美術作家、陶芸家] 推薦



井上 菜々子 Inoue Nanako 陶芸家

ティーセットをテーマにした豊かな時間を作る陶造形表現

「ティータイム」は忙しい日常の中で、お茶を飲んでホッと一息つく、ちょっとした「非日常」です。その時間をより特別に、豊かに彩りたいと思い制作しています。見て、触れて、お茶を飲んで、楽しんでください。

1998 京都府生まれ
2021 多摩美術大学美術学部工芸学科 卒業
2023 多摩美術大学大学院博士前期課程工芸専攻陶研究領域 修了
現在 東京都在住、制作



佐藤 典克 [陶芸作家、公益社団法人日本工芸会 正会員、多摩美術大学工芸学科 非常勤講師] 推薦



岸 明里 Kishi Akari 陶磁器作家

表面装飾を用いた陶磁器制作

日常で目にする「植物が群生することで生まれる情景」を制作のきっかけとして、陶磁器作品を制作しています。

2000 神奈川県生まれ
2022 多摩美術大学美術学部工芸学科 卒業
2024 多摩美術大学大学院博士前期課程工芸専攻陶研究領域 修了
現在 神奈川県在住、制作、多摩美術大学工芸学科陶研究室 副手



川浦 由華 [陶芸家、石川県立九谷焼技術研修所 技術指導課長] 推薦



坂川ひかり Sakagawa Hikari 陶磁器作家

自ら手びねりで成形した形に、染付の深い藍色を用いて細かい絵を描く

夢の中を漂い旅をしているような世界をテーマに、主に染付と上絵を用いて表現しています。美術品としての鑑賞だけでなく、使って触れ合うことができる、工芸を身近に感じてもらえるような作品を目指し制作しています。

1998 東京都生まれ
2021 武蔵野美術大学造形学部工芸工業デザイン学科陶磁専攻 卒業
2023 九谷焼技術研修所本科 修了
現在 石川県在住、制作



三上 亮 [陶芸家、東京藝術大学美術学部工芸科陶芸専攻 教授] 推薦



下城 爽 Shimojoh Akira やきもの作家

土・素材を自ら見つけ試すところからはじめ、自作の薪窯での焼成を中心に急須などの器を制作

土地になじみ、そこから素材と出会い試行する過程にこそ創作の楽しみを感じています。巡り、自分の生み出したものがどこかで誰かに影響を与える、それは素晴らしいことではないでしょうか。

1997 神奈川県生まれ
2021 東京藝術大学美術学部 卒業
2023 東京藝術大学大学院美術研究科 修了
2025 東京藝術大学美術学部取手工芸テクニカルインストラクター 在籍中
現在 静岡県在住、制作、静岡県藤枝市地域おこし協力隊隊員として活動中



川浦由華 [陶芸家、石川県立九谷焼技術研修所 技術指導課長] 推薦



中谷 まこ Nakaya Mako 九谷焼絵付師

九谷の素地に、弁柄と酸化鉄を主とした絵具で、赤絵細描の技法を用いて制作

古くから使われている古典的絵柄や文様を用いて、現代の生活に彩りを添えられる新鮮な作品作りを目指しています。

1993 北海道生まれ
2016 北海道教育大学 卒業
2021 石川県立九谷焼技術研修所 卒業
現在 石川県在住、制作



大井 真希 [陶芸家、金沢卯辰山工芸工房 専門員] 推薦



長澤 舞 Nagasawa Mai 陶芸作家

磁土／染付、上絵
うつわや壁掛けなど様々な形体に絵付けをしている

風や光など目には見えないもののイメージを、植物や人物に重ねて表現しています。染付と上絵の技法を用いて一層ごとに絵付けをすることで、奥行きのある空間表現と磁器の特性である透明感をより引き出したいと考えています。

1996 滋賀県生まれ
2021 愛知県立芸術大学美術学部デザイン・工芸科陶磁専攻 卒業
2023 愛知県立芸術大学大学院美術研究科陶磁領域 修了
金沢卯辰山工芸工房 陶芸工房 入所
現在 石川県在住、制作



北野 勝之 [陶芸家、岐阜県立多治見工業高等学校専攻科陶磁科学芸術科 主任] 推薦



松本 幸介 Matsumoto Kosuke 陶作家

天然原土を自ら調合し、それを生かした作品制作

実際にこの目で見た自然や風景、生き物が持つ、厳しくも凛としていて朗らかなあの気配。それを土で形成することで、誰かの豊かさへと繋がるように。そんなモノづくりを。

1998 東京都生まれ
2020 岐阜県立多治見工業高等学校専攻科陶磁科学芸術科 修了
鈴木蔵氏に師事
2023 独立
現在 岐阜県在住、制作



小森 邦衛 [漆芸家、石川県立輪島漆芸技術研修所 所長、公益社団法人日本工芸会正会員、重要無形文化財「髹漆」保持者、邦衛工房 主宰] 推薦



荒川 莉沙 Arakawa Risa 漆芸家

乾漆／蒔絵／螺鈿

漆という素材がもつ魅力が伝わるよう、引き出せるよう目指して日々制作しています。

1986 栃木県生まれ
2016 東京藝術大学大学院美術研究科文化財保存学保存修復工芸研究室 修了
石川県立輪島漆芸技術研修所専修科 卒業
2018 石川県立輪島漆芸技術研修所蒔絵科 卒業
2021 石川県立輪島漆芸技術研修所蒔絵科 卒業
現在 石川県在住、制作、重要無形文化財輪島塗技術保存会伝承者



石坂 健一 [長野県塩尻市副市長] 推薦



いちだ めぐり Ichida Meguri 漆芸作家

主に長野県で採れた木地や漆を使い、日常使いのできる漆器を制作

長野県木材と長野県産漆を使い、木曾漆工の町で物を作ることと、全ての生産者が見える、わかる、モノづくりをしています。制作販売からその後のメンテナンスも含めて長く使えるものを作っていきます。

1987 熊本県生まれ
2005 京都市立銅駝美術工芸高等学校 卒業
2012 広島市立大学芸術学部デザイン工芸学科漆造形専攻 卒業
2017 漆工町木曾平沢にて独立
現在 長野県在住、制作



栗本 夏樹 [漆造形作家、京都市立芸術大学美術学部漆工専攻 教授、京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA 館長] 推薦



呉 雯雯 Wu wen wen 漆作家

レーザーカッターなど現代技術を活用して漆作品を制作

中国の漢字と日本の草手絵といった伝統文化の要素を再デザインし、レーザーカッターなど現代技術を活用して、過去、現在から未来へと向かう時代のイメージを持つ漆作品を制作しています。

1991 中国福建省生まれ
2016 (中国) 福州大学視覚伝達デザイン専攻 卒業
2016～2019 廈門楽享澄果創意設計有限公司 正社員
2024 京都市立芸術大学大学院 漆工専攻修士課程 修了
現在 京都府在住、制作、京都市立芸術大学大学院漆工領域博士課程 (後期) 在学中



呉藤 安宏 [公益財団法人山中漆器産業技術センター 専門員] 推薦



内木 悠未 Naiki Yumi 木漆芸作家

挽物ろくろの技術で木を削り、漆を塗るうつわを制作

柔らかく凛とした美しい曲線を求めて制作しています。漆で仕上げることでグラデーションのある表情をつくり、木の魅力を生かした作品を目指しています。

1994 岐阜県生まれ
2018 愛知県立芸術大学美術学部 卒業
2020 石川県立挽物轆轤技術研修所 卒業
挽物木地師 中嶋武仁氏に師事

2025 独立
現在 石川県在住、制作



高 蒨蓮 [株式会社彦十蒔絵道代表取締役] 推薦



日野 勇輝 Hino Yuki 漆芸家

蒔絵や変塗りの技法を用いた制作

伝統的な蒔絵技法をベースに、様々な素材・テクスチャーを合わせることで、自分なりの漆の魅力を表現したいと思っています。

1989 石川県生まれ
2021 石川県立輪島漆芸技術研修所専修科 卒業
2024 石川県立輪島漆芸技術研修所蒔絵科 卒業
現在 石川県在住、制作



住谷晃一郎 [香川県政策部文化芸術局文化振興課・美術コーディネーター] 推薦

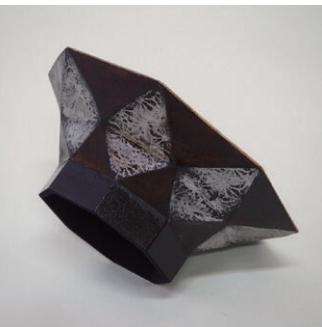


野乃可バネッサ NonokaVanessa 漆芸作家

「ポップ」な色味を活かして、自分の身近にある自然や食べ物、生き物をデザインに落とし込んだ作品の創造

「漆の一滴、血の一滴」を座右の銘に、自然が生み出した木の血液「漆」を身近に感じ、暮らしを彩りたいと思っている。手に取った時の“あたたかみ”が自分の創作意欲をかき立てる。そんな生命力を感じるポップで新しい漆器を届けたい。

1999 香川県生まれ
2018 香川県立高松工芸高等学校工芸科 卒業
2021 香川県漆芸研究所研究生課程 修了
宮城県仙台市に移住
現在 宮城県在住、仙台と香川を拠点に制作
＊体調の都合により、本展の展覧をお休みされます。



住谷 晃一郎 [香川県政策部文化芸術局文化振興課・美術コーディネーター] 推薦



みなと ふさこ Minato Fusako

漆芸家・うるしのえはん作家 香川漆芸

原体験や感動をテーマに、漆芸作品及び、うるしのえはんの制作を手掛ける。童心と遊び心をちりばめ、漆の持つ魅力で大人も子どももワクワク楽しめる空間づくりを提案する。

1997 アメリカ生まれ
2015 市立札幌平岸高等学校デザインアートコース 卒業
2020 愛知県立芸術大学デザイン・工芸科陶磁専攻 卒業
2023 香川県漆芸研究所研究生課程 修了
現在 香川県在住、制作



中川 周士 [木桶職人、株式会社中川木工芸 代表取締役、成安造形大学 教授] 推薦



大原 弘也 Ohara Hiroya 木工職人

木桶を中心に指物、挽き物などの技法を用いてテーブルウェアや暮らしの道具を製作

桶を中心に、これまでに培った指物や挽物などの技術を適材適所に活かしたもののづくりをしています。生活の中で引き立て役として寄り添うものを、経年変化した姿も想像しながら、自分の「好き」を率直に形にしています。

1993 愛媛県生まれ
2015 京都伝統工芸大学学校木工専攻 修了
佛具製作所木地師に師事
2019 株式会社中川木工芸 入社
現在 滋賀県在住、制作

